

(1) V、8、1977 西宮市武田尾、読売ゴルフ場 1 Ex.

国鉄福知山線の武田尾駅から武田尾温泉旅館街を抜けて急坂を登り、読売ゴルフ場のグリーンに上がったところ、暖かい太陽の光を受けた芝生の上を多数の小型のコガネムシが活発に飛び回っていた。ウスチャコガネのはか見慣れない緑色のコガネムシがあり、これが初めて見るヒラタアオコガネであった。

(2) VI、2、1984 宝塚市長尾山 宝塚高原ゴルフ場 1 Ex.

中山最高峰を北へ下り、十万辻から生瀬橋に通じる烏脇宝塚停車場線の県民の森まで歩いたとき、宝塚高原ゴルフ場で、前述同様、芝生の上を活発に飛び回っているのに出会った。

本種が六甲山上のゴルフ場に多いことが、本誌第14巻第2号で紹介されていたが、本種はやはりゴルフ場と関係が深いようである。付近の他のゴルフ場についても探してみたい。

## ツマアカマルハナノミダマシの記録

(兵庫県甲虫相資料・191)

高橋 寿郎

ツマアカマルハナノミダマシ *Eucinetus haemorrhoidalis* Germar の県下での記録は仲田元亮氏が川西市大和から割合多くの個体を採集されたものがある〔仲田、1978、1982〕。それ以外の地では全く知られていない。筆者は美濃郡吉川町市野瀬で積み重ねられた薪から1頭採集しているので此処に記録しておきたい(26-VI-1985)。仲田氏は学名を *Eucinetus rufus* Portevin とされている。これは中根 猛彦博士の原色昆虫大図鑑Ⅱ(pl.70, f.2, p.139, 1963)によったものと思はれる。

酒井雅博氏は1985年の原色日本甲虫図鑑(Ⅱ)で上記学名で図説されておられる(pl.77, f.2, p.420)。*Eucinetus* 風の日本産の3種は再検討の要があるとされている。かなり小さい虫でありあまり採集されていないグループだけにわからないことが多くあるようである(酒井氏によると菌の生じた朽ち木や枯れ草の堆積下で発見されるグループとされている)。

(JAN. 1987)